

第8回スウェーデン カロリンスカ視察研修 (ツアーコード: 17-006)

【同行解説】 熊倉勇美 先生

医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院顧問 言語聴覚士 医学博士

【研修時期】 2017年2月4日(土)～2月11日(土) 8日間

【訪問都市】 スウェーデン/ストックホルム

熊倉先生の研修は今年8回目を迎えます。今回はカロリンスカ大学の協力によるプログラムで、高齢認知症の方の摂食拒否や嚥下障害、高次脳機能障害の問題、経管栄養の是非などについて最新の情報を交えたトップクラスの講義を受講予定です。摂食嚥下リハのみではなく「食とコミュニケーション」の問題に対する北欧での対応について見聞を深め、北欧におけるSTの臨床や研修から、参加者ご自身それぞれの日常臨床を再認識していただける内容を目指しています。

オランダ認知症支援プログラム視察研修 (ツアーコード: 17-003)

【同行解説】 浦上克哉 先生

鳥取大学医学部 教授

【研修時期】 2017年3月20日(月)～26日(日) 7日間

【訪問都市】 オランダ/アムステルダム 他

今、認知症は本人視点での医療、ケアが期待されていますが、本人視点での医療・ケアを行うためには早期診断が必要です。しかし、早期診断後の支援体制が日本ではまだ十分に整っていないという課題があります。実際を知るには現地でも本物を見て直接お話を聞くことが重要と考え、今回の研修は認知症政策・支援先進国であるオランダを訪問し、早期支援のための先進的な仕組みやサポート組織でのスタッフの取り組み、施設見学など素晴らしい視察プログラムを予定しています。同行解説は認知症診断・予防の第一人者として著書、メディア等でもおなじみの浦上克哉先生です。

ノースカロライナ TEACCH プログラム視察研修 (ツアーコード: 17-010)

【同行解説】 梅永 雄二 先生

早稲田大学教授 日本LD学会常任理事 日本自閉症スペクトラム学会理事

【研修時期】 2017年8月2日(水)～8月11日(金)予定 10日間 ※速報版より日程変更になりました！

【訪問都市】 アメリカ/シャーロット、アルバマール、チャペルヒル

臨床的に最も成功している自閉症プログラムとして今や世界各国で取り組まれていて、広く認知されているTEACCHプログラムを発祥の地である本場ノースカロライナ州で研修します。研修先ノースカロライナ大学は自閉症に関して全米の二大研究センターに指定されており有意義な研修を受けていただけることでしょうか。視察研修に同行いただけるのは発達障がい就労支援の第一人者でおられる、早稲田大学の梅永雄二先生です。

その他、2017年度は下記の海外視察研修も鋭意企画進行中です。概要が決定次第、弊所ホームページで発表いたします！
※内容およびスケジュールなどの変更、企画中止および延期になる場合がございます。

カナダ高次脳機能障害視察研修

【同行解説】 種村留美 先生 (神戸大学大学院 保健学研究科 教授)

スコットランド・マギーズ視察

【同行解説】 牧野智恵 先生 (石川県立看護大学 看護専門領域 教授)

スウェーデン地域包括ケア視察研修

【同行解説】 西嶋公子 先生 (西嶋医院 院長)

欧州音楽療法視察旅行

【同行解説】 中島恵子 先生 (こども音楽センター 主任セラピスト)

お問い合わせ リバティ・インターナショナル(国際治療教育研究所) 〒105-0004 東京都港区新橋6-13-12 木澤ビル4F

Tel 03-6459-0671

Fax: 03-3436-5808

Email: info@iet.co.jpWeb: <http://www.iet.co.jp>

キリトリセン

ご希望の海外研修や国内セミナーのタイトルを下記の欄にご記入の上、03-3436-5808 までFAXをご送信ください。
後日費用などの詳細が確定しパンフレットおよびプログラムが完成後に送付先住所宛てに送付申し上げます。

ご希望の海外研修および国内セミナータイトル:

フリガナ	男	職業	TEL	
名前	女		FAX	
フリガナ			携帯	
送付先住所 (自宅・勤務先)				
〒				
Eメール				@

リバティ・インターナショナルをお知りになったのは?

 ご紹介(様) ダイレクトメール 広告 弊社HP 講演会 その他()